

11月11日～12月12日
電池月間



でんち

社団法人 電池工業会

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8
機械振興会館内

電話 (03) 3434-0261 (代)

E-mail: bajapan@hi-ho.ne.jp

ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

振替口座 東京8-91022

発行人 木村侃丘

定価 1部郵送による年決め2,400円

平成14年2月1日

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

第88回理事会と賀詞交歓会を開催

社団法人電池工業会は1月11日、東京プリンスホテルにおいて第88回理事会と、賀詞交歓会を開催した。理事会では審議事項の承認、各部会活動報告が行われた。賀詞交歓会では優良従業員表彰式などが行われた。

第88回理事会は安田会長が議長となり次の議案を審議した。

第1号議案 正会員入会の件

木村専務理事からBYD社（中華人民共和国の電池会社）の説明があり、同社の正会員入会について審議されたが、BYD社の入会については継続審議となった。

第2号議案 平成13年度優良従業員表彰の件

各会社において顕著な功績のあった者を優良従業員として表彰することを承認した。

表彰された方々は次の12社17名（順不同、敬称略）佐々木忠雄（SIIマイクロパーツ）、小笠原時己（FDK）、馬野重夫、山口幸雄（三洋電機）、安村 弘（ジーエス・メルコテック）、馬場博通（新神戸電機）、菅野栄章、佐藤定雄（ソニー）、小林知正（東洋高砂乾電池）、山川健二郎、四辻幸弘（日本電池）、高木直行（日立マクセル）、星野 保（古河電池）、伊勢敏博、松本三男（松下電池工業）、剣持博通、辻野 保（ユアサ コーポレーション）。



第3号議案 報告事項

理事交替の件

東洋高砂乾電池株式会社 代表取締役社長 河合敏宏氏から鈴木八洲雄氏へ交替

正会員代表者交替

NECモバイルエネルギー株式会社 代表取締役社長 相見俊彦氏から関 勝男氏へ交替

第4号議案 各部会活動報告

一次電池部会活動報告

小形二次電池部会活動報告

二次電池部会活動報告

小形二次電池再資源化推進センター活動報告

広報総合委員会活動報告

13年度1年間の活動ビデオを放映した。

理事会終了後、平成13年度優良従業員の表彰式が行われ、各受賞者に賞状と記念品が授与された。表彰式に続き経済産業省 商務情報政策局 情報通機器課 岩田悟志課長を始め、電池関連会社、団体など関係者多数を招いた「新年賀詞交歓会」が行われ、和やかな雰囲気の中で会は終了した。

平成13年度第4回一次電池部会開催

平成14年1月11日、機械振興会館において白石部会長（松下電池工業（株））を議長に、平成13年度第4回一次電池部会（出席者22名）が開催された。

冒頭に白石部会長から、昨年は電池全体の販売金額が前年比84%という厳しい年であったが、物作りで成功している事例もあり、お互いの発展のために本年も頑張りたいとの挨拶があった後、海外関係の報告と9委員会の活動報告があり、一部の課題について方向づけをする意見を頂き承認された。

.....

委員会等活動報告

1. 海外関係

中国の電池生産が急速に伸びている状況や日本との価格差が大きい状況等を中心に、中国の化学物理電源工業協会を訪問して得られた情報について報告があった。

2. コイン電池、誤飲事故に関する「米国家電製品製造協会」の要請について

昨年10月以降の状況説明があり、今後更に詳細な情報を入手し対応を検討することにした。

3. 広報委員会報告

平成13年度の活動報告と14年度の活動項目並びに予算の考え方について報告があり、経営環境が厳しい中であり13年度の予算の枠内で予算を計画する方向が確認された。

4. 業務委員会報告

業務委員会と調査統計小委員会を統合し、効率的に活動することが提案され承認された。

5. 調査統計小委員会報告

2000年の世界の一次電池生産数について、報告があり承認された。

6. PL委員会報告

事故件数が増加傾向にあること、アルカリ乾電池が大半を占めること、電池の入れっぱなしや逆接続、ショートによる液漏れが多いため玩具メーカーなどへの説明に力をいれていることが報告された。

7. 技術委員会報告

JISの改正や国際規格案件に対する内容を中心に平成13年度の活動状況と14年度の計画について説明があり承認された。

8. 環境対応委員会報告

平成13年度活動と14年度活動計画並びに予算について報告があった。また数社から発売の発表があったニッケル乾電池について、環境関係の対応の考え方について環境対応委員会で継続審議し検討することになった。

9. 循環技術委員会報告

野村興産（株）安中精練所の見学結果について報告があった。

10. 資材委員会報告

亜鉛並びにリチウムの市況についての勉強会を実施した内容について報告があった。

小形二次電池再資源化推進センター便り

小形二次電池の回収状況（12月末現在）

	ニカド電池	ニッケル水素	リチウムイオン	小形シール鉛
本年度回収目標量	700t	100t	300t	30t
12月度単月実績	96.3t	4.9t	11.2t	9.0t
年度累計実績	433.6t	31.1t	196.0t	23.6t
達成率	62%	31%	65%	79%

2001年度 自動車用バッテリー 「早めの交換PRキャンペーン」クイズ抽選発表

2001年11月1日～12月31日の間、早めのバッテリー交換PRキャンペーンクイズの募集を行った結果、応募総数102,600通、ハガキによる応募数58,960通、ホームページによる応募数43,640通であった。

クイズの正解は約3年で、応募全数正解であった。2002年1月11日に、機械振興会館別館B1電池工業会会議室において、二次電池広報委員会メンバーにより、厳正な抽選が行われ当選者が決定した。

10万円旅行券3名様は、高知県の小川明香様、茨城県の丹下幸子様、新潟県に加藤尚子様。3万円グルメ券10名様は、横須賀市の岩崎雅之様、宇都宮市の石川貴子様、大垣市の西脇稔様、京都市の荒山勝様、八王子市の神宮字美恵様、新座市の横澤恵美子様、茨木市の桑原清様、千歳市の松田た



ける様、和泉市の西田泰江様、酒田市の五十嵐則幸様。1千円クオカード100名様は、賞品発送をもって発表といたします。多数のご応募ありがとうございました。

蓄電池設備整備資格者

講習修了考査合格者

福岡会場分

電池工業会は、1月16・17日福岡県で開催した、蓄電池設備整備資格者講習の修了考査に合格した者の氏名を発表した。

合格者(合格率)は、55名(98.2%)であり。合格通知は直接本人に通知される。

<福岡県>

京良裕行、小園浩明、中島明人、和田浩一、野依和之、
税所弘美、岡 政広、濱本敦志、浅田光一郎、福田光志、
小岩井雅人、清田忠臣、前田淳二、大石勝彦、
有吉政利、森山敏光、小川 貢、梶原宣幸、吉野 雄、
松野正光、末田秀平、川畑 亨、渡邊満夫、鮎川治己、
近藤弘行、殿明良昭、鳥越政作、岡崎武郎、溝上孝好、

松井勝馬、福富敬孝、米村美俊、林 友彦、吉村 治、
市原一久、小林恒雄、山吉亮壮、伊藤はつ子、北島慎剛、
田中栄一、衣川貴志、綱本光輝、荒木 豊、吉良辰夫、
栗山 誠、小川泰成、宮里 聡、川添誠哉、久保田昌人、
早弓寛志、本田良知、内藤明治、原 廣、土井誠二、
田中安昭。

業界動向

***三洋電機** デジカメの海外販売を2002年から本格化、「SANYO」ブランドのシェア向上へ。
(12月1日付 電波)

***フォード(米)** 燃料電池車の2004年の市場投入に向け、開発が順調に進んでいる旨を発表。
(12月3日付 日経産業)

***CSR(英)** ブルートウースの普及により、これを搭載したPDA市場は2005年には現在の50倍になると予想中。
(12月3日付 日刊工業)

***ホンダ** マンションなどで電動アシスト自転車の共同利用が出来る駐輪場システムを発売へ。
(12月4日付 日刊工業&日経産業)

***日本電池** タクシー業界等を対象に、重負荷に対応した自動車用バッテリーを開発、今月から発売へ。
(12月4日付 化学工業日報)

***松下電池工業** 事業責任者の若返りを図る為、松下電器産業グループ5社が2002年4月導入予定の57歳役職引継ぎ制度を前倒して実施。
(12月4日付 日刊工業)

***電力貯蔵システム** 東京電力がナトリウム硫黄電池(NAS電池)の発売に着手を始める等の動きを開始、非効率な電力利用の負荷の平等化を目指した電力貯蔵システムが実用化の時期に入ってきた。
(12月5日付 日刊工業)

***ガートナー・データクエスト(米、調査会社)** 7月—9月期の世界市場の携帯電話の出荷台数が、新型機の投入遅れ等で前年同期比8.6%減の9436万台になった。
(12月5日付 日経産業)

***東芝電池** 高出力特性に優れたアルカリ乾電池に代わる次世代の一次電池「ニッケル乾電池」を開発、2002年3月から発売する旨を発表。
(12月6日付 電波、日刊工業、日経産業&化学工業日報)

***東芝** シーメンス(独)との間で合意していた欧州向け第三世代携帯電話の共同開発を取り止める事を明らかにした。
(12月6日付 日経)

***燃料電池バス** 燃料電池車実用化の起爆剤として「燃料電池バス」の導入が世界で開始され始めた。2005年には世界24都市で実用化が予定中。
(12月7日付 日刊工業)

***デジカメ用電池** 成長著しいDSCの電源電池が、主流のニッケル水素、リチウムイオンの両二次電池に加え、汎用性のあるアルカリ乾電池、ニッケル乾電池を採用するモデルが増加、主導権争いが激化中。
(12月7日付 電波)

***日立マクセル** 新構造の採用等で強度を確保した3ミリ未満の超薄角型のリチウムイオン電池を開発、来春からサンプル出荷を開始。
(12月7日付 電波、000&化学工業日報)

***東芝電池** 次世代乾電池として開発したニッケル乾電池の発売に合わせ、この物のモニターキャンペーン、テレビCM展開等キャンペーンを立体的に展開、大々的にPRへ。
(12月8日付 電波)

***シチズン時計&セイコーインスツルメンツ** 機械式腕時計の部材を来年度から共同調達、競合が激しくなっている中国勢に対抗へ。
(12月8日付 日経)

***ソーカーセラー東京** ジュニア向けに、トミー(玩具メーカー)の協力のもと、遊び心を演出したプリペイド式携帯電話の第三弾を開発、11月末から販売へ。
(12月8日付 電波)

***YUASA** 使用する全ての部品、材料などの環境負荷を低減させる為のグリーン調達をこの程導入した。
(12月8日付 電波)

***東京都** 下水道局の葛西処理場で12月17日からナトリウム硫黄電池(NAS電池)を稼働させると発表。
(12月8日付 電波)

***携帯電話** 携帯電話各社の加入の純増数が、前月比16%減の47万1800台となり、初の50万台割れになった。普及の頭打ちが鮮明に。
(12月8日付 日経)

***日本ガイシ** 非常用電源等に普及が見込まれているナトリウム硫黄電池の量産を目指し、愛知県に新工場を建設2003年4月から量産開始へ。
(12月8日付 日経)

***東京理科大学・理学部** 水を完全に分解するタンタル系の光触媒の開発に成功した。
(12月10日付 化学工業日報)

***日本電池** 既存品比5倍の長寿命を実現した電力貯蔵用電池(鉛)を開発、この程販売を開始した。
(12月11日付 化学工業日報)

***中国電子報** CCID(中国の有力市場調査機関)の調査から、今後中国の情報家電市場は、ハイエンドのPDAが主力になる事、デジカメの個人消費が一層拡大する事等を発表。
(12月11日付 電波)

***日立マクセル** 記録メディア、電池の二事業に継ぐ第三の柱の育成の為、新組織を設置、まずブルートウースのモジュール部品の生産・販売に乗り出す。
(12月12日付 日経産業)

***東京信友** 難聴者に電話や来客を知らせる高機能の腕時計型感知端末を開発。自治体、病院等で販売を予定中。
(12月12日付 日経産業)

***YUASA** 燃料等の取り扱いが簡単な直接メタノール型燃料電池(DMFC)を用いた電源システムを開発した。
(12月13日付 日経&日刊工業)

***国内電池** 国内電池メーカーは、中韓の安値攻勢とIT不況に対応、高出力電池或いは超薄型電池の開発等、技術力で突破口を開く事にトライ中。
(12月13日付 日経産業)

***産業構造審議会廃棄物リサイクル小委員会** 来年度開始予定の家庭用パソコンのリサイクルについて、リサイクル料金を販売時に徴収する前払い方式にする事を決定した。
(12月14日付 日経、日刊工業&電波)

***第三世代(3G)携帯電話** 米方式の通信規格「CDMA2000」で、音声とデータを双方向で伝送出来るバージョンアップ規格が2002年半ばまでに標準化される見通しになった。
(12月14日付 日刊工業)

***電子情報技術産業協会** 産業用電子機器と携帯電話(携帯電話、自動車電話、PHSの合計)に関する世界需要予測を纏め、12月12日発表した。
(12月13日付 日刊工業)

***シード・プランニング(東京・調査会社)** PDAユーザーの半数強はこの物を個人の情報管理に使っている事、インターネット接続による使用は約4割である事等の調査結果を発表。
(12月13日付 日刊工業)

***伊吹電子** 難聴者向けにヘッドフォン型音声拡張器を開発、12月下旬から発売する。電源は、単五電池二本で連続200時間の使用が可能。
(12月17日付 日刊工業)

***ノートPC** 今年度上期のノートPCの落ち込みは前年同期比1%減とデスクトップタイプ(19%減)に比べると落ち込みは少なく、IT業界回復の起爆剤の期待がかかって来た。
(12月18日付 日経産業)

***三菱電機** 携帯電話事業を担当する移動通信統括事業部を再編縮小した事、開発体制も再編した事を発表。
(12月18日付 日刊工業)

***AVパソコン(音響・映像パソコン)** 国内パソコン大手は個人向け機種へのテレビ受信機能や高音質スピーカーの搭載を加速、マイナス成長の巻き返しを開始。
(12月18日付 日経)

***松下電器産業** SDカードで音楽や映像が楽しめるSDマルチカメラと、業界最小最軽量の手帖サイズのSDモバイルプリンターを1月20日から発売する。
(12月19日付 電波)

***中国通信** 湖南省科学技術研究院が開発したニッケル水素動力電池(自動車用)が専門家による確認検査に合格した事を発表。
(12月20日付 日経産業)

***ダイハツ(大阪)** アトキンス社(米)から食品温度を2〜3秒で計測出来る高速デジタル式の食品温度計を輸入販売する。電源は単三電池一個。
(12月20日付 日刊工業)

***三洋電機** 岐阜事業所に国内最大級の太陽光発電システムを完成させた事を発表。最大出力は630キロワット、太陽電池の普及促進に役立てる。
(12月21日付 日経、電波、日経産業&日刊工業)

***KDDI、コンパック(日本)、CSKネットワークシステム&ウイットネット(韓国)** 4社共同で、外出先のPDAからPC画面操作が出来る遠隔操作ソリューションで協業する旨を発表。
(12月20日付 日刊工業)

***クリーナー** コードレスタイプ、サイクロン方式等新機軸の商品群が寄与、クリーナー市場は拡大中で、高級機のウエイトが高まり金額ベースでも期待が持てそうである。
(12月21日付 電波)

***ミノルタ** APSカメラ(新写真システムカメラ)事業から撤退、デジカメ開発に経営資源を集中、カメラ事業の建て直しへ。
(12月22日付 日経)

***NEC&ソニー** 両社は、過剰在庫や欠品の発生を未然防止を目指し、家電量販店と直結するサプライチェーン・マネジメント(SCM)の構築に乗り出す。
(12月25日付 日経)

***ヤマハ発動機** 2002年内に環境対応型の電動スクーターを市場に投入する方針を発表、価格は原付き並、電池はリチウムイオン電池で一回の充電で30〜35kmの走行が可能。
(12月25日付 日刊工業)

***小形二次電池再資源化推進センター(JBRC)** 21世紀どどんりサイクルキャンペーンで回収された充電式電池の回収量が、前年比28%増の81トンになった事を発表した。リサイクル運動が進む充電式電池と言う事が言える。
(12月29日付 電波)

平成14年 1月度の電池工業会活動概要

部会	1月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議その他	11日(金)	理事会	*新規正会員入会、優良従業員表彰の審議及び各部会活動報告
	11日(金)	会員会社優良従業員表彰	*17名の優良従業員に表彰状、記念品を授与
	11日(金)	賀詞交歓会	*経済産業省岩田課長ほか関係会社、団体の代表者を迎えて賀詞交換
	18日(金)	2002年モーターショー準備会	*本年度の商用車モーターショーの説明と出展勧誘
	18日(金)	貿易問題環境対策委員会(日機輸)	*中国における環境政策及び化学物質の取り扱い申請等
	22日(火)	広報統合準備委員会	*一次、二次、小形二次広報の統合に向け検討審議
	22日(火)	広報総合委員会	*本年度の予算案と来年度の活動計画と予算額の審議
	29日(火)	特殊金属プロジェクト委員会	*レアメタル使用電池の現状および将来動向について説明
	30日(水)	JIS C 8511アルカリ一次電池原案作成本委員会	*改正原案を外部委員(中立者、消費者)を迎えて審議
	30日(水)	IEC/TC35国際原案回答調査作成本委員会	*回答原案を外部委員(中立者、消費者)を迎えて審議
二次電池部会	8日(火)	小形鉛分科会	*IEC規格案(投票用)のコメント内容。BAJ規格(容量算出法)初校の点検
	9日(水)	二次電池リサイクル委員会拡大事務局	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	10日(木)	EV鉛分科会	*電動車両協会と電池工業会のIEC文書に関する対応分担
	11日(金)	二次広報委員会	*早めの交換PRキャンペーンクイズ抽選会
	15日(火)	二次電池リサイクル委員会拡大事務局	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	15日(火)	産業用密閉形鉛蓄電池リサイクルプロジェクト(委)	*産業用電池新リサイクルスキーム申請書類準備
	16日(水)	自動車鉛分科会	*JIS(二輪自動車用鉛蓄電池)解説案。前回のIEC国際会議議題事項
	18日(金)	用語分科会	*TC1(IEC用語委員会)出張報告。規格票作成マニュアルの検討
	22日(火)	据置鉛分科会	*電機工業会依頼のBAJ指針の作成方針。IEC規格案に対するコメント。
	23日(水)	電気車電池統計分科会	*10～12月の需要動向及び今後の予測
	23日(水)	産業用電池統計分科会	*10～12月の需要動向及び今後の予測
	24日(木)	EVリチウム分科会	*電気自動車用リチウム二次電池の規格案作成
	24日(木)	産業用密閉形鉛蓄電池リサイクルプロジェクト(委)	*産業用電池新リサイクルスキーム申請書類準備
	25日(金)	二次PL、自動車用電池技術サ・ヒ・ス小委員会合同会議	*リコール制度改正(後付装置追加)の対応。点検フェスティバルへの対応、分担。
	25～26日	二次電池リサイクル委員会拡大事務局	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	28日(月)	(自)市販小委員会	*L型端子問題確認。(自)リサイクルプログラム見直しの件。
	29日(火)	(自)リサイクル特別委員会	*初回会議。基本方針・計画の審議。
	29日(火)	自動車用電池リサイクル分科会	*会計報告と次期計画・予算。マニフェスト回収率。
	29日(火)	HEV用電池分科会	*ハイブリッド自動車用二次電池の規格案作成
	30日(水)	資材委員会	*再生鉛使用状況統計。次期計画・予算。
	30日(水)	電気車用電池リサイクル分科会	*電気車用電池リサイクルに関する方針・関連業界との連携
	31日(木)	産業用密閉形鉛蓄電池リサイクルプロジェクト(委)	*産業用電池新リサイクルスキーム申請書類準備
小形二次電池部会	7日(月)	国土交通省・航空局との会議	*ICAO Panelの結果と日本提案の採択結果に対する方針検討
	8日(火)	海事検定協会との会議	*2002年国連のGHS委員会の取り組み活動を確認
	9日(水)	再資源化委員会回収調査WG	*回収率目標設定のための調査委員会を発足、アンケート内容の検討
	10日(木)	再資源化委員会識別表示WG	*「小形充電式電池の識別表示ガイドライン」の見直し
	10日(木)	日本電気大型店協会(NEBA)	*2001年リサイクルキャンペーン結果の報告
	15日(火)	第10回国連対応委員会	*VTCP取り組みのまとめと手引書の確認。2002年の計画確認
	16日(水)	全国電機商業組合連合会	*2001年リサイクルキャンペーン結果の報告
	16日(水)	再資源化委員会回収調査WG	*回収率目標設定のための調査のアンケート内容の最終確認
	16日(水)	リチウム二次分科会	*IEC統合機械試験規格、統合安全規格、リチウム二次電池規格の原案内容審議
	17日(木)	再資源化委員会アルカリ分科会	*ニカド電池、ニッケル水素について、回収率算出のための調査の検討
	18日(金)	再資源化委員会リチウムイオン分科会	*リチウムイオン電池に関する再資源化マニュアルドラフト4の検討
	18日(金)	ニカド・ニッケル水素分科会	*IEC統合機械試験規格、統合安全規格の回答原案内容審議
	21日(月)	安全性ガイドライン策定WG	*PC用リチウム二次バック電池の安全性ガイドライン英文ドラフトの内容検討
	22日(火)	工場環境委員会	*中環審の土壌制度小委員会、海域環境基準専門委員会の動向把握
	23日(水)	再資源化委員会	*「循環型経済システムの高度化に向けて(案)」に対するコメント対応他
	24日(木)	業務委員会	*小形充電式電池の平成13年12月の出荷結果の確認及び検討
	25日(金)	第118回海外環境委員会	*中国の電池業界及び欧州規制の動向確認等
	31日(木)	再資源化委員会識別表示WG	*「小形充電式電池の識別表示ガイドライン」の見直し
一次電池部会	11日(金)	一次電池部会	*ニッケル乾電池発売の環境問題への影響などを調査し纏める
	30日(水)	JIS小委員会	*JIS C 8511、JIS K 1467、JIS K 1469 改正原案の審議
	30日(水)	IEC小委員会	*TC35国際規格回答原案の作成
	31日(木)	PL委員会	*2001年度活動計画の策定等

アルカリ乾電池3万本の 社会福祉施設への寄贈について

社団法人電池工業会では、「赤い羽根」の社会福祉法人中央共同募金会への単三形乾電池の寄贈を、昭和63年の電池の日から開始し、本年に至るまで14年間継続をしています。

電池は、中央共同募金会を経由して児童福祉施設を中心に全国の社会福祉施設に配られていて本年も全国267箇所配りました。

各施設で電池は、ミニ四駆から電子ゲームに至る広い用途に使われて、心温まる感謝の手紙が数多く寄せられています。今回は、その一部を紹介いたします。

和歌山市 医療施設法人 済生会有田病院

このたびは当院に単三アルカリ乾電池300本をご高配頂きまして誠に有難うございました。当院としては、この物品は使用量の多い必須品であり、年間約1800本使用しております。経費節減の折、誠に有難く思っております。医療機器、治療機器、事務機器等幅広く利用でき、有難く頂戴致します。

札幌市 児童施設 ノビロ学園

この度はたくさんの乾電池を寄贈いただき誠にありがとうございます。私どもの施設は児童施設という事もあり、入所している子どもたちの電動玩具などの電池の補充は、子どもたちの要求にいつも全てに応えるというわけにも参らず、この度のご寄贈は誠にありがたく感謝申し上げます。子どもたちには一足早いクリスマスプレゼントになった様です。大切にに使わせていただきたいと思います。

山梨県 社会福祉法人 クローバー学園

過日は沢山の電池をお送り下さり誠にありがとうございました。
大好きなゲーム等は、電池を必要とする物の割合が増えてきており、いくらあっても足りない程です。その為此の度のようなご寄付はなによりありがたく、改めてお礼申し上げます。
また、電池のパックに同封の「でんちミニ情報」や「電池の知識」等の冊子は、子ども達のみならず、私共職員にとっても大変参考になりました。とりわけ「機器に合わせた上手な使い分け」というページは、身近なことであり、いかに今迄用途に適さない不経済で無駄な使い方をしていたか痛感させられました。これからの世の中は、湯水のように物を消費することは許されません。
いずれ社会人となり一人で生活せざるを得ない彼らに、物の上手な使い方、賢く無駄のない使い方等その辺りを、今迄以上にしっかり伝えていかなければならないと決意を新たにしているところです。
頂いた電池は、良い教材として大切に使いたいと思っております。

尚、中央共同募金会への電池の寄贈は、本年で15回目となります。

紹介した手紙はほんの一例ですが、寄せられた心温まる数多くの手紙をエネルギーに、(社)電池工業会メンバー一同本年も運営していく覚悟です。皆々様の御協力応援をよろしくお願い致します。

●●●●● 新製品ニュース ●●●●●

高性能アルカリ乾電池単3形・単4形を発売

松下電器産業(株)と松下電池工業(株)は、各種デジタル機器の普及に対応して、前年に引き続き、強負荷パルス放電時の性能をさらに約20%^{*1}向上させた単3形、および約10%^{*1}向上させた単4形高性能アルカリ電池を、従来と同価格で3月1日から発売します。

[特長]

1. 単3形は、強負荷パルス時の放電性能を約20%^{*1}向上
・パナソニックデジタルカメラ「PV-DC3000J」で、82枚撮影可能(従来品では68枚)
2. 単4形は、強負荷パルス放電性能を約10%^{*1}向上
3. 低電流連続放電時においても従来性能を維持

^{*1} 当社従来品比。単3形 1000mA・単4形 600mA負荷で、10秒オン、50秒オフのパルス繰り返し放電時。終止電圧10Vの時。

〈技術のポイント〉

- ・単3形は電池内部のセパレータを薄肉化することにより正極、負極の内部活物質の充填量を増やし、高容量化と共に、強負荷パルス放電特性を約20%^{*1}向上しました。
- ・単4形はセパレータの薄肉化とともに新しい底紙を採用、活物質の充填量を増やし、強負荷パルス放電特性を約10%^{*1}向上しました。



ニッケルマンガン電池単3形を発売 業界初 デジタルカメラ用の新一次電池

松下電器産業(株)と松下電池工業(株)は、デジタルカメラの急速な普及に対応して、現行アルカリ乾電池に比べ強負荷放電性能を高め、デジタルカメラ使用時の撮影枚数を大幅に増やした全く新しい一次電池^{*1}ニッケルマンガン電池単3形を、業界に先駆けて3月20日から発売します。

本製品は、正極材料に独自のニッケルとマンガンを使用するなど長年の乾電池要素技術を応用した、高出力を有するデジタルカメラ用電池です。

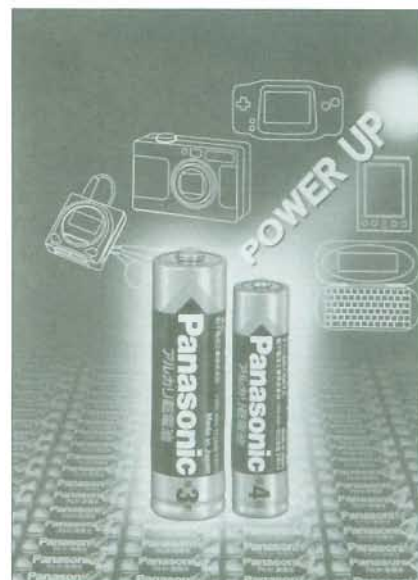
[特長]

1. デジタルカメラでの撮影枚数が大幅アップ(当社比)
撮影枚数143枚(アルカリ乾電池では47枚。コダックDX3600を使用^{*2})
2. 現行アルカリ乾電池の保存特性を確保
3. 電池の未使用、使用済が見分けられる「見分けるパック」仕様

〈新技術〉

1. デジタルカメラでの高出力実現のため、オキシ水酸化ニッケル^{*3}を新たに開発。
2. 保存特性を高めるため、
 - (1) 新添加剤を採用。
 - (2) オキシ水酸化ニッケル^{*3}と二酸化マンガンの最適配合を実施。

^{*3} オキシ水酸化ニッケルとは、水酸化ニッケルを酸化させたもの。



〈特許件数〉申請中を含め、10件。

11月度電池および器具販売実績（機械統計）

（平成13年11月）

単位：数量＝千個、金額＝百万円

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
電池・器具総合計	592,352	65,480	92%	87%	5,798,066	663,508	87%	85%
全電池合計	591,289	63,786	92%	86%	5,787,713	646,355	87%	85%
一次電池計	437,964	17,289	91%	90%	4,243,816	153,362	91%	88%
マンガン乾電池計	109,332	2,629	90%	85%	1,072,599	22,873	89%	84%
単一	16,919	919	90%	87%	125,918	6,690	88%	87%
単二	9,975	377	88%	86%	73,722	2,745	76%	76%
単三	57,390	966	91%	83%	593,965	9,384	97%	89%
その他	25,048	367	89%	84%	278,994	4,054	79%	75%
アルカリ乾電池計	160,957	8,972	93%	92%	1,316,549	72,842	91%	92%
単三	102,635	4,839	94%	92%	847,344	41,082	97%	98%
単四	32,887	1,740	89%	87%	282,345	14,993	76%	75%
その他	25,435	2,393	95%	95%	186,860	16,767	94%	94%
酸化銀電池	75,296	898	89%	89%	880,882	9,982	97%	90%
リチウム電池	88,352	4,622	88%	90%	929,328	45,698	88%	85%
その他の乾電池	4,027	168	104%	90%	44,458	1,967	101%	95%
二次電池計	153,325	46,497	95%	85%	1,543,897	492,993	78%	84%
鉛電池計	3,836	13,906	88%	91%	40,131	137,839	91%	97%
自動車用	2,389	8,928	96%	93%	21,911	76,334	98%	95%
二輪用	326	626	75%	77%	4,497	8,306	88%	88%
小形シール	886	940	75%	79%	11,002	11,269	78%	80%
その他	235	3,412	98%	94%	2,721	41,930	111%	109%
アルカリ電池計	107,494	11,475	94%	83%	1,088,898	127,889	72%	73%
完全密閉式	42,871	4,724	92%	93%	491,575	53,735	87%	86%
ニッケル水素	64,611	6,472	94%	78%	597,144	70,436	63%	65%
その他のアルカリ電池	12	279	55%	68%	179	3,718	81%	82%
リチウムイオン電池	41,995	21,116	99%	83%	414,868	227,265	95%	84%
器具計	1,063	1,694	98%	100%	10,353	17,153	82%	96%
携帯電灯	566	457	84%	72%	5,662	5,549	74%	78%
電池器具	497	1,237	122%	116%	4,691	11,604	94%	108%

11月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（平成13年11月）

単位：数量＝千個、金額＝百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	290,135	30,408	96%	84%	3,074,128	329,422	84%	79%
一次電池計	161,478	3,515	97%	97%	1,815,240	38,320	92%	88%
マンガン	50,644	416	117%	105%	544,267	4,503	98%	96%
アルカリ	21,149	369	98%	88%	268,198	4,835	86%	85%
酸化銀	32,626	388	79%	77%	384,759	4,717	101%	99%
リチウム	54,376	2,245	102%	103%	589,124	23,416	87%	87%
空気亜鉛	1,842	37	83%	84%	20,419	393	96%	97%
他の一次	842	60	17%	81%	8,474	455	26%	44%
二次電池計	128,657	26,893	95%	82%	1,258,888	291,102	74%	77%
鉛蓄電池	331	601	52%	63%	5,736	9,622	71%	84%
ニカド	35,175	3,251	97%	98%	392,743	35,556	85%	81%
ニッケル鉄	0	0	0%	0%	226	34	23%	34%
ニッケル水素	43,175	4,107	78%	60%	450,725	50,638	59%	56%
リチウムイオン	34,201	16,386	103%	86%	310,945	169,832	92%	83%
その他の二次	15,774	2,548	152%	98%	98,513	25,420	77%	98%
全電池合計（輸 入）	64,453	4,013	120%	112%	435,733	38,660	108%	103%
一次電池計	61,832	1,382	136%	133%	396,910	11,394	118%	124%
マンガン	21,301	266	127%	108%	113,078	1,589	103%	104%
アルカリ	35,909	794	138%	125%	252,576	5,274	122%	110%
酸化銀	507	11	635%	519%	3,891	88	703%	404%
リチウム	1,536	110	92%	117%	14,842	1,113	117%	115%
空気亜鉛	24	2	25%	170%	3,002	129	87%	100%
他の一次	2,556	199	250%	339%	9,521	3,200	360%	183%
二次電池計	2,621	2,631	33%	103%	38,823	27,265	57%	96%
鉛蓄電池	557	1,608	103%	125%	5,156	14,406	100%	116%
ニカド	1,326	425	57%	70%	13,096	4,338	85%	74%
ニッケル鉄	29	16	-	-	38	41	502%	306%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の二次	709	582	14%	90%	20,533	8,481	43%	84%